

研修ニュース



〒518-0814 三重県伊賀市上友生 785 番地

TEL&FAX:0595 (21) 8839

E-Mail:iga-ken@iga.ed.jp

研修講座 B-1 「特別支援教育3回連続講座①」を実施しました

「・特別支援学校によるセンター的機能

・かがやき特別支援学校あすなろ分校における地域支援」

【講師】伊賀つばさ学園 支援企画部 橋本 拓弥さん

「CLM と個別の指導計画」

【講師】こどもの育ち支援課 発達支援係 山口 信吾さん

5月8日（金）、特別支援教育3回連続講座の1回目を行いました。

今回は1つ目に伊賀つばさ学園のセンター的機能について、活用事例をもとに教えていただきました。センター的機能とは「特別支援学校が、その専門性と経験を活かし、地域の保・幼・小中学校・高等学校などに対して、様々な支援を行うこと〔引用：文部科学省「特別支援教育のセンター的機能について」〕です。具体的には、個別の指導計画作成における助言や自立活動の方法についての電話相談、通級による指導を受けている児童生徒の支援の手立てについて等です。また教職員向けの研修会や教材・教具の貸し出しもあります。校内支援委員会等で検討いただき、有効に活用いただければと思います。

2つ目には「CLM(チェック リスト in 三重)と個別の指導計画」に関わってです。これは途切れのない発達支援を行うために、保育所(園)、幼稚園等に通う気になる子の行動を観察し、「個別の指導計画」を作成するために開発されたアセスメントツールです。「個別の指導計画」は、担任が適切なインクルーシブ保育を実践するために作成する保育のシナリオであり、同時に「すべての子どもにわかりやすい保育・教育」、「規律のある保育・教育」による適切な支援を行うことで、効果を発揮するというお話が印象的でした。また実践を通して、子どもたちや担任にもよりよい変容が見られたというお話から、PDCAサイクルの循環が大切であることを改めて学びました。

参加された先生方には、校内で還流していただき、実践に活かしていただきますようお願いします。

アンケートより【一部抜粋】

・CLMの研修、とてもわかりやすくまとめていただき、昨年1年間関わらせていただきましたが、改めて理解できたところもあり有意義でした。保小(中)がつながるとも貴重なシステムですので、ぜひ拡大していただきたいと思います。昨年のCLM研修のおかげで、本校ではA児を迎える準備・支援体制づくりができ、入学後に保護者の方から特別支援学級での支援を希望していただくことができました。A児自身はもちろん、その家庭にも素早く積極的に関わることができ、本当にありがたかったです。関係機関のみなさんに感謝しています。【小】

・つばさ学園のセンター的機能については聞いているものの、なかなか利用させていただく機会がありませんでした。しかし今回丁寧に説明していただいた事例内容から、活用をもっと考えてみてはと思うところがありました。助言をいただけたらと思う生徒もいます。校内で検討していきたいです。【中】

・CLMを実施することで、子どもと教員双方に効果があることを知ることができた。指導の観点をしっかり定め、日々の指導を行い、さらに指導内容を絞って重点的に指導をしていけるようにしたいと思った。【特別支援学校】